５００円玉を使ってみよう

例をさんこうに、ひつような枚数を書きましょう。

きんがく	１００円玉
１００円	枚
２００円	枚
３００円	枚
４００円	枚
例　５００円	５枚
６００円	枚
７００円	枚
８００円	枚
９００円	枚

きんがく	５００円玉	１００円玉
	１枚	０枚
	枚	枚
	枚	枚
	枚	枚
	枚	枚

次のきんがくを出すのにひつような枚数を書きましょう。

できるだけ少ない枚数で出すようにしましょう。

	５００円	１００円	５０円	１０円	５円	１円
４８９円	枚	枚	枚	枚	枚	枚
６６１円	枚	枚	枚	枚	枚	枚
７３５円	枚	枚	枚	枚	枚	枚
９９９円	枚	枚	枚	枚	枚	枚
８１４円	枚	枚	枚	枚	枚	枚